

人と地域の出会いを創る『九州移住ドラフト会議 2021』をサポートします！

～ソラシドエアは地域活性に繋がる活動を応援します～

株式会社ソラシドエア(本社:宮崎県宮崎市 代表取締役社長:高橋宏輔)は、3 年連続今回も地域と移住希望者を繋げるプロジェクト『九州移住ドラフト会議 2021』のメインスポンサーを務めます。

移住ドラフト会議は、プロ野球のドラフト会議に見立てて、球団役として移住を受け入れたい「地域」、選手役として「移住希望者」が参加する“人と地域”の出会いの機会を創出する移住企画です(※主催:九州地域間連携推進機構株式会社)。

2016 年に鹿児島から始まり、宮崎、熊本に拡大し、過去4回の開催で約 30 名が移住したほか、二拠点生活、地域 PR や課題解決の協働など、地域と人との多様なつながりが生まれています。



今回は、九州全エリアと山口県を含む 14 球団(地域)の参加が決定しました。

この九州移住ドラフト会議は、移住を「移り住む」だけでなく、「人と地域の関係づくり」と捉え、人が地域を訪れたり、共に課題を解決したりするきっかけを目指しています

ソラシドエアは、この企画の主旨に賛同し、参加する地域や移住希望者が活発に交流していくことを応援していきます。

これからも、地域に根差したエアラインとして、九州・沖縄の多彩な魅力を多くの方に広め、一人でも多くのみなさまに様々な形で“九州・沖縄”に触れていただく機会を創出していきます。



昨年の移住力強化キャンプの様子



昨年の指名会議の様子



〈九州移住ドラフト会議2021シーズンのスケジュール (予定)〉



詳しくは、九州移住ドラフト会議ホームページをご覧ください。

<https://npb-iju-draft.jp/>

※九州地域間連携推進機構(NPB=Nine states local Partnership Board)は、九州の人々と共に戦略を描き事業を実践する組織。地域と人を結ぶ移住ドラフト会議、地域主体の社会づくり、人材育成とその仕組み作りに取り組みます。 https://note.com/npb_kyushu



ソラシドエアは、本社を宮崎県宮崎市に構え「九州・沖縄の翼」として、羽田・沖縄と九州を結ぶ路線を展開しています。全機ボーイング737-800型機に揃え(14機保有)、リーズナブルな運賃で毎日13路線80便を運航しています。

ブランドコンセプト“空から笑顔の種をまく。”の下、お客様のニーズに合わせたソラシドエアらしいおもてなしで、“笑顔ひろがる心地よい”サービスを追求しています。また、地域振興を目的とした地域と人を繋ぐ“つながりは無限大『九州・沖縄プロモーター』”プロジェクトなどに取り組んでいます。

ソラシドエア ホームページ: www.solaseedair.jp/

